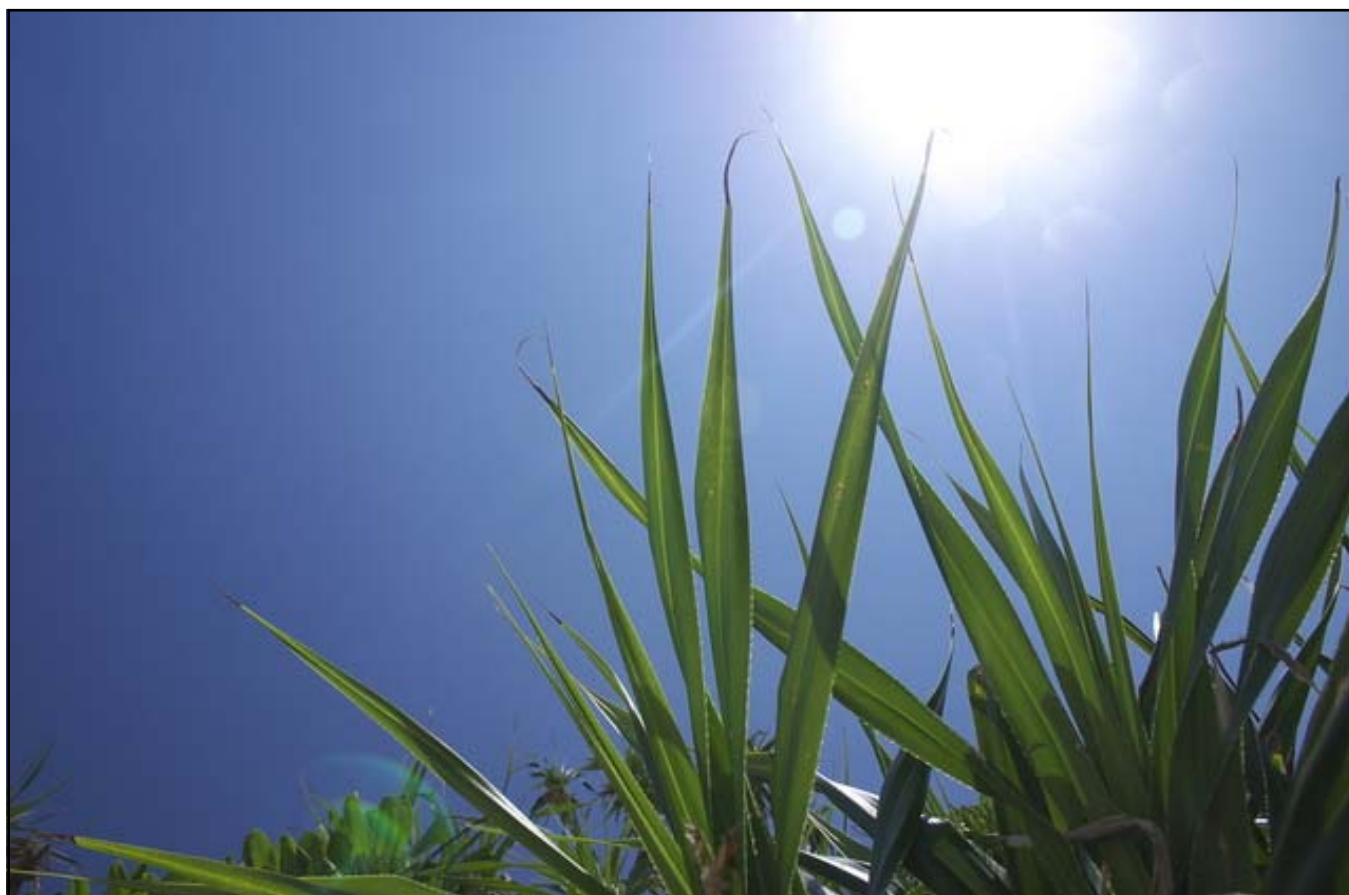




環境人材育成コンソーシアム準備会

EcoLeaD

(Environmental Consortium for Leadership Development)

環境人材育成コンソーシアム準備会事務局



財団法人 地球環境戦略研究機関



環 境 省

「環境人材育成コンソーシアム準備会」ウェブサイト

<http://www.eco-lead.jp>

アジアの環境人材育成の必要性

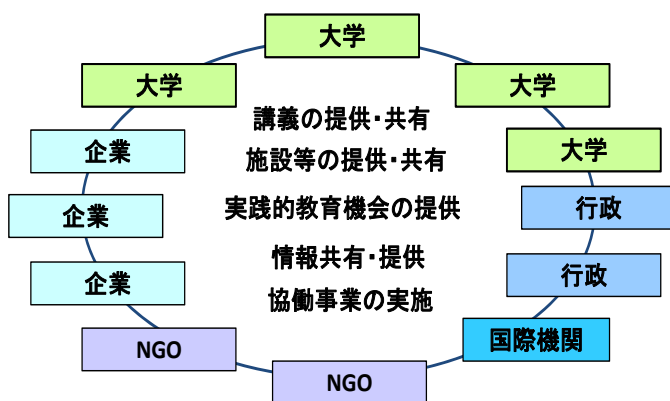
環境人材の育成がなぜ必要なのか？

近年、人類は持続可能性をめぐるさまざまな問題に直面しており、それらへの対応が喫緊の課題となっています。また、昨今の世界的な経済危機の中、いわゆる「グリーン・ニューディール」、「グリーンジョブ」など、「環境保全により経済社会の活性化を目指す政策」を通じて国家の経済・社会構造を変革していくことが求められています。

持続可能な社会づくりを進めていくためには、経済社会のグリーン化を担う人材、「環境人材」を育成することが必要不可欠です。

環境人材育成コンソーシアムとは？

環境人材育成のための産学官民の連携



環境人材育成コンソーシアムとは、産学官民すべてのステークホルダーが参加し、環境人材の育成に係る情報の交換・発信や人材の交流を行うことができる、実践的なプラットフォームです。

環境人材育成コンソーシアムでは、個別に実施されている大学教育、企業活動等を繋げて、産学官民すべてのステークホルダーの協働による、「環境人材」の育成を目指します。

環境人材育成コンソーシアムの構成主体は、大学、企業、行政、NGO、国際機関などです。

産学官民連携により育成される「環境人材」とは？

環境人材とは、

- ・社会変革のための新しい発想、構想、企画力
- ・現在及び将来の社会が直面する課題への問題解決能力
- ・環境保全を通じて仕事を作り、経済を活性化させる実践のための行動力などの能力を有する人材

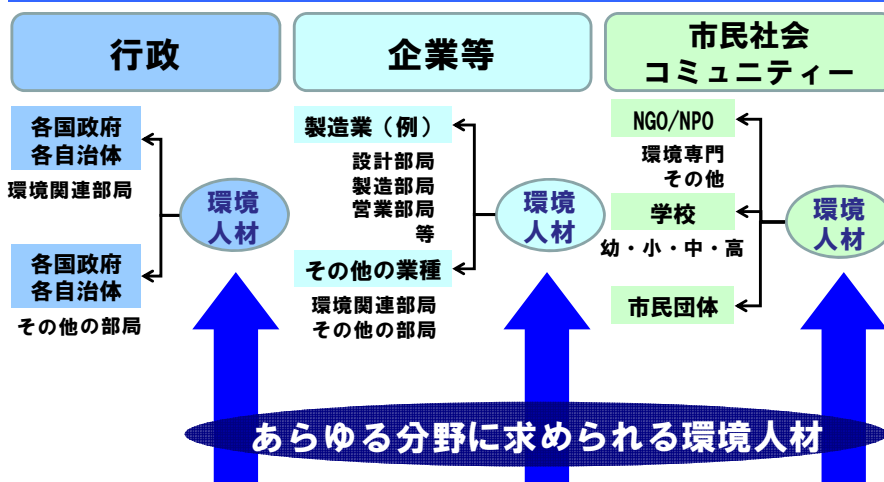
環境人材は、縦軸に各分野の専門性、横軸に環境保全・持続可能性についての知識と俯瞰的な視野、それらの双方を統合した「T字型」もしくは「π字型」の素養を有する人材です。

環境保全・持続可能性についての分野横断的な知見－俯瞰力・鳥瞰的視点を持つ



専門性を充分身につける－法学、経済学、工学等

T字型環境人材の活躍の場



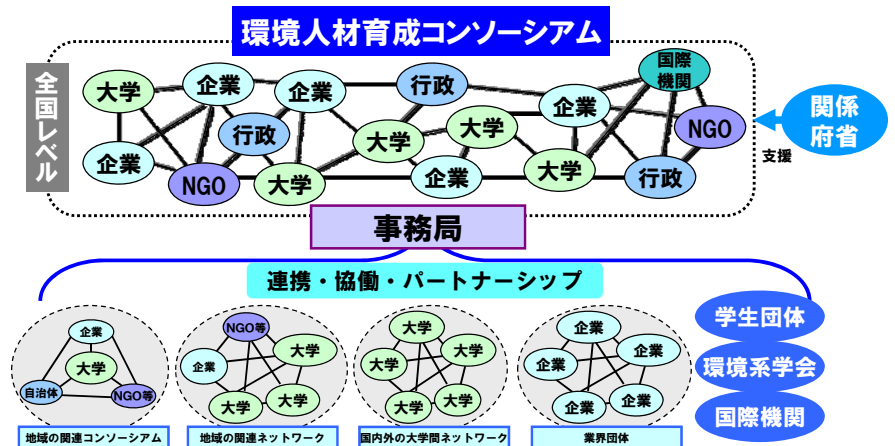
経済社会のグリーン化を推進していくためにも、行政、企業、市民社会等あらゆる場において、自らの専門分野に環境の視点を内在化させたT字型環境人材が求められています。

環境人材育成コンソーシアムおよび準備会について

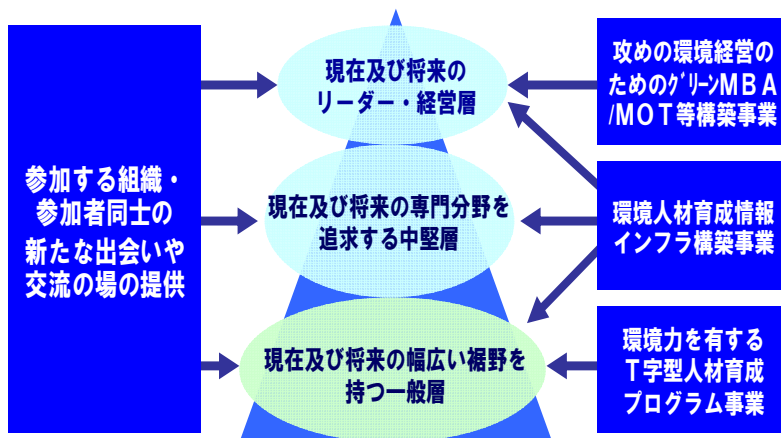
コンソーシアムの設立に向けて、そのあり方を検討し、試行的に事業を実施するための「準備会」を設立致しました。是非、ご入会下さい。

環境人材育成コンソーシアムのイメージ

環境人材育成コンソーシアムは、大学、企業、研究機関、NGO、NPO、行政等、環境人材育成に係わる産学学民のステークホルダーの連携、協働の場であるとともに、既存の地域のコンソーシアムやネットワーク、業界団体等との連携・協力関係を構築していきます。



事業について



準備会では、人材活用側である企業、行政等のニーズと、人材育成側である大学のシーズを明らかにしながら複数の事業を試行的に実施していきます。同時にコンソーシアムの組織の在り方について検討します。基盤的な事業として、参加する団体、組織、個人の出会いや交流の場を提供することを計画しています。また、試行的に下記のような環境人材育成に係る複数の事業を実施していきます。これらの事業で育成するターゲットは、左図のとおりです。

アジア各国との連携を目指した国際交流・協力事業

*MBA: Master of Business Administration(経営学修士)
MOT: Management of Technology (技術経営)

準備会では、会員の皆様の参加により、下記のような事業活動を予定しています。いくつかの事業では、参加者（会員）の有志によるワーキンググループを設置し、参加者の協働によって事業の企画と運営を行う予定です。

出会いや交流の場の提供:

- 情報交流や連携促進等を目的としたセミナーや意見交換会等の開催

攻めの環境経営のためのグリーン MBA/MOT 等構築事業:

- 国内外におけるグリーン MBA/MOT、環境経営プログラム、実施状況や教材等のレビュー
- 環境経営、マネジメント関連の実践的教育手法に関する実施状況や課題、効果的実習手法の調査・検討

環境力を有するT字型人材育成プログラム構築事業:

- 国内外における既存のT字型人材育成プログラム、「環境学」関連のシラバス、教材等のレビュー
- 「環境学」関連の実践的教育手法に関する実施状況や課題、効果的実習手法の調査・検討

環境人材育成に係る国際交流・協力事業:

- 環境人材育成に係る国際的なネットワーク(ProSPER.Net(アジア環境大学院ネットワーク)等)との連携、及び国際交流・協力事業実施の可能性の検討

環境人材育成情報インフラ構築事業:

- 環境人材育成情報インフラ構築に係る全体設計
- 環境人材育成カリキュラム等のデータベースの構築 等

準備会へのご参加および組織運営について

入会について

【参加者について】

準備会の会員は、環境人材育成に関心を持ち、コンソーシアムに参加する意思を有する全ての学校法人・国立大学法人・公立大学法人（大学全体、学部又は学科レベル）、高等専門学校、株式会社、財団法人、社団法人、独立行政法人、特定非営利活動法人、行政機関（または行政職員）、国際機関、大学教員、学生団体、その他、幹事会が認めた組織（者）等を対象としています。

【入会方法】

準備会に参加するには会員登録が必要です。「入会申込書」に必要事項をご記入の上、お申し込みください。

【会費について】

準備会の会費は無料です。行事等への参加には、実費（交通費等）の負担をお願いすることがあります。

会員の種類とメリット

【通常会員】

コンソーシアム設立に向けての検討、準備会が開催するセミナー及び出合いや交流の場等に主体的・積極的に参画する組織（者）

メリット

- 基盤的・試行的事業等のセミナー等に参加でき、そのノウハウ等を活用することができます。
- 準備会の事業内容のコンテンツを教育活動に活用できます。
- 準備会に環境人材育成に関するプロジェクトを提案することができます。
- 環境人材育成関連情報のデータベースにアクセスし、そこから情報を得ることができます。
- 提供したい関連情報を、データベース等を通じて発信することができます。
- 環境人材育成に係わる様々な関係者と交流を図ることができます。
- 産学官民やそれぞれの主体内の交流・連携及びネットワーク構築を可能とします。

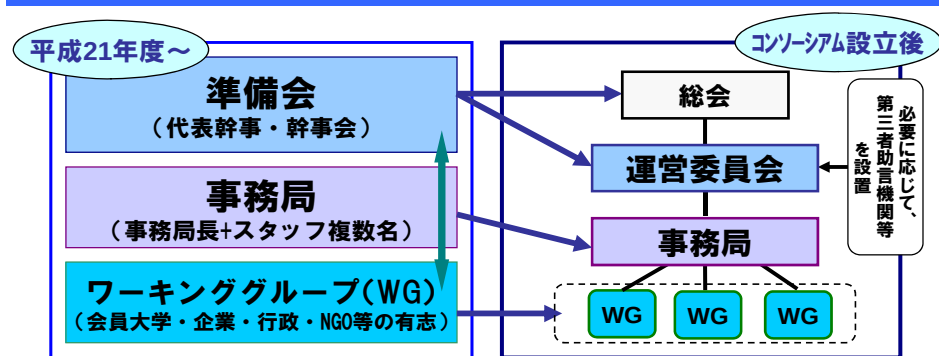
【情報会員】

準備会が開催するセミナーや会合等についての情報を受け取る組織（者）

メリット

- 環境人材育成関連情報のデータベースにアクセスし、そこから情報を得ることができます。
- 提供したい関連情報を、データベース等を通じて発信することができます。

準備会の運営体制



準備会では、事業の検討とその試行的実施の他、関係団体との協力事業や協賛事業についても、会員からの提案と参画により幅広く実施していきたいと考えています。具体的な内容は幹事会で検討していきます。

問合せ先

環境人材育成コンソーシアム準備会事務局

〒240-0115 神奈川県三浦郡葉山町上山口 2108-11
財団法人地球環境戦略研究機関
能力開発と教育プロジェクト内
電話: 046-826-9588（早川）/ 046-855-3862（太田）
FAX: 046-855-3809

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1
日本プレスセンタービル4階
財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター内
電話: 03-3509-7814（森下）
Eメール uni_cons@iges.or.jp

環境省環境教育推進室

〒100-3975 東京都千代田区霞ヶ関 1-2-2
中央合同庁舎 5号館
電話 03-5521-8231
（環境人材育成コンソーシアム準備会担当）

「アジア環境人材育成イニシアティブ」ウェブサイト <http://www.env.go.jp/policy/edu/asia>